

平成22年4月7日  
原子力安全対策課  
(22-2)  
<10時資料配付>

**美浜発電所2号機の発電再開について**  
(化学体積制御系統の空気抜き配管溶接部からの漏えい)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所2号機(加圧水型軽水炉 定格電気出力50万キロワット)は、定格熱出力一定運転中の3月19日に、監視カメラにより化学体積制御系統<sup>\*1</sup>の再生熱交換器<sup>\*2</sup>室内で水の滴下(4滴/分)が確認されたため、漏れ箇所の特定等を行うため、同日14時に出力降下を開始し、21時00分に発電を停止、21時55分に原子炉を停止した。

点検の結果、原子炉冷却系統への充てん水が流れる配管に設置されている空気抜き配管の管台との溶接部に、充てんポンプの振動との共振による疲労割れが認められた。

対策として、当該配管について充てんポンプの振動との共振を回避したものに置き換えることとした。

\*1: 化学体積制御系統

原子炉冷却系統から1次冷却材の一部を抽出し浄化した後、保有水量やほう素濃度等を調整して、原子炉冷却系統に1次冷却材を充てんする系統

\*2: 再生熱交換器

原子炉冷却系統から化学体積制御系統への抽出水と、原子炉冷却系統への充てん水との間で熱交換を行うことにより、充てん水を加熱し、原子炉冷却系統への熱影響を緩和する。

[平成22年3月19日、23日、4月2日 記者発表済み]

当該配管の取替えを行い、漏えい確認および振動計測を行った後、4月6日17時10分に原子炉を起動した。

今後、本日昼頃に発電を再開する予定である。

問い合わせ先(担当: 伊藤)  
内線2354・直通0776(20)0314